

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月18日～2017年2月24日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週はレアルは対ドル、対円ともに下落しました。債券は金利低下となりました。

中央銀行は2月22日(現地)、政策金利を大方の市場予想通り0.75%ポイント引き下げ、12.25%とすることを決定しました。利下げの決定は全会一致で行われました。4会合連続の利下げ実施となり、これまでの実施分と合わせると合計2.00%ポイントの利下げ幅となります。大幅利下げを続けている背景には、インフレ率が中央銀行のインフレ目標の範囲内に収まり、市場予想も下回るなど、物価の沈静が顕著になってきたことが挙げられます。

海外要因では、FOMC(米国連邦公開市場委員会)議事録により米ドル高懸念が示されたことや、米財務長官の財政出動の今年の景気へ及ぼす影響が限定的になるとの発言や、フランスの大統領選挙を警戒しリスク回避的な動きとなったことが円高材料となりました。

### 【2】今週の見通し

今週は、ブラジル製造業購買担当者指数(PMI)などの経済指標が発表される予定です。リオのカーニバルのため週の前半は祝日となっており、動意に乏しい展開を想定します。

テメル政権は今月末のカーニバル明けから本格化する国会で社会保障改革法案の成立を目指し、用意周到に準備を進めている模様です。公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発が予想されますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられるため、ブラジルへの投資活発化を通じてレアルが下支えされることが期待されます。リスク要因としては、継続的な汚職捜査による国内政治リスク、グローバル市場全体におけるリスク回避姿勢の強まりとそれに伴う投資資金の流出などが挙げられます。

### 【3】主要経済指標

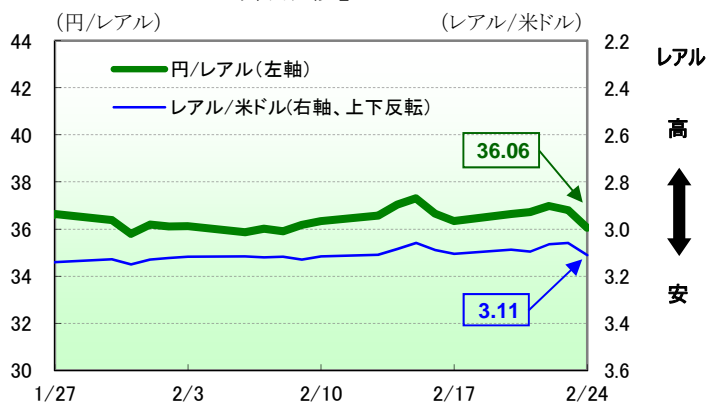
発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
2/22	毎月	2017年2月	インフレ率(15日締め、前年同月比)	5.02%	5.94%
2/23	毎月	--	SELICレート	12.25%	13.00%
2/24	毎月	2017年1月	全国失業率	12.60%	12.0%
2/24	毎月	2017年1月	基礎的財政収支(億ブラジル・レアル)	367	-707
2/24	毎月	2017年1月	純債務対GDP比	46.4%	45.9%
3/2	毎月	2017年2月	ブラジル製造業購買担当者指数(PMI)	--	44.0

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
  - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
  - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
  - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年1月27日～2017年2月24日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年1月27日～2017年2月24日)

